

ラ フォレ セ ラ ヴィ ー森こそ命ー



La Forêt, C'est la Vie !



小さな実が鈴なりになっているマンゴの花芽。大きくなるにつれて落果し、2～3 個程度が残ります。

ご挨拶

現在、ブルキナファソは乾季ですので、日中の気温は 30 度以上あります。例年ですとこの時期、朝晩は涼しく、日中も 20 度台の後半程度と、それほど暑くなりません。そのため現地では「冬季」と呼ばれ、比較的過ごしやすい時期なのですが、今年は既に 30 度を超えており、季節が前倒しでやって来ているようにも思えます。1 月には、乾季では非常に珍しい雷を伴う激しい降雨もありました。

2013 年は、アルジェリアの日本人質事件や隣国マリ共和国での武力衝突の発生を受け、ブルキナファソ国内の移動制限も強化されました。そのため、1 月から 9 月までは、プロジェクトを実施している村々に行くことが出来ませんでした。ただ幸いなことに、協力関係にある現地 NGO の頑張りのおかげで、活動の進捗にはほとんど支障が生じませんでした。制限が解除された 10 月以降、村々を視察しましたが、住民のモチベーションも変わらずに高いままでした。

私どもの活動は、一般の方々からのご支援が基礎となっています。また、経済状況の波加減を強く受けるため、時には横からの大波に押されることもあります。波をかぶりながらも進んでいるのは、厳しい最中にあっても支えて下さる皆様のおかげであると痛感しております。日頃のご厚意に感謝いたしますと共に、皆さまのご多幸とご健康を心よりお祈りいたします。

緑のサヘル 代表 岡本敏樹

8年目の「小学校緑化支援」

ブルキナファソのコングシ地域で行なっている「小学校緑化支援」が8年目を迎えました。このプロジェクトは、「緑のサヘル」が苗木や植栽用具、灌水用具を提供し、各小学校が木を植え、育てるというものです。「校舎を緑で囲い、子供たちを熱風や砂塵から守って上げたい」、「一本の木の大切さを、体験を通して学んでほしい」という教師や保護者の皆さんからの願いを受けて、2007年に始められました。



↓ (2007 年)

以来7年間で、延べ12,000人を越える子供たちによって、22校の校庭に計5,269本の苗木が植えられました。子供たちの懸命な水やりのおかげで、7割を越える苗木が、見上げるほどの高さになり、まですくなりました。今、子供たちは暑さが和らいだ教室で学び、授業の合間には木陰で体を休めることが出来るようになりました。そして、4年後、5年後の後輩たちのために、木を植え続けています。



(2013 年)



子供たちのがんばりで、学校に木立が出来ました。

後輩たちのために、苗木を植え続けています！



子供たちに支援を！

例年、この「小学校緑化支援」には、「イオン環境財団」、「WE21 ジャパンとつか」、「下橋中学校」(敬称略)等よりご支援いただいておりますが、現在、2013年度の活動結果の調査およびその発表会、2014年度の植林講習会、普及指導員、資機材の一部に係る経費、計100万円が不足しています。

各校における活動結果の調査は、子供たちの一年のがんばりを把握するためのものです。また、各校代表が一堂に会して行なわれる結果発表会は、そうした子供たちをねぎらう場でもあります。子供たちは、ここで新たな力を得、講習会で緑の大切さや木の植え方、育て方を学び、普及員の指導の下、校庭の緑化に取り組みます。

皆さま、どうかご支援をお願いいたします！



忙しかった穀物の収穫シーズンは終わりましたが、住民たちは休む間もなく野菜栽培に従事しています。野菜栽培は、特に女性たちにとって現金収入を得る大切な手段です。1月中旬ごろから、収穫されたタマネギやインゲンの出荷が始まっています。

JICA 草の根技術協力事業



収穫した穀物を前にして。栽培地の生産力が高まっています。

2013年の雨季は、雨の降り始めはやや遅かったのですが、降水量は平年並みで、降り方も順調でした。そのおかげで、地域の穀物生産は良好でした。JICA 草の根技術協力事業を行なっているロルガ村、タンギエマ村、タンボンガ村では、ザイ（堆肥穴）農法を実施している栽培地やディグット（石堤）が設置された栽培地で、とりわけ良好でした。

ディグットは、年を重ねるにつれて効果を発揮するのですが、2009年に設置した栽培地では、収穫量が3～4倍になりました。収穫された穀物で食べていける期間も2倍ほど長くなり、家庭によっては8ヶ月間の備蓄を確保することが出来ました。食事の回数や1食あたりの消費量が増えた家庭もあります。

現在、3村でディグットの設置が進められています。設置に先立って行なわれた石の運搬作業では、女性たちの活躍が目立ちました。運搬だけではなく、ハンマーを振るって大石を砕いており、圧倒されました。また、堆肥材料の積み込みも3村共に完了しています。どの村でも堆肥作りにすっかり慣れており、乾燥糞などの材料収集から積み込みまで、手際よく進めています。今後は、混ぜ合わせた材料が乾燥しないよう、毎週800ℓの水を3ヶ月間追加し続けます。

一方、女性たちが取り組んでいる羊の飼育と販売も順調でした。3村のうち、ロルガ村とタンボンガ村では、イスラム教の祭日（タバスキ）に合わせて販売しましたが、タンギエマ村では羊の太り具合が不十分だったため、年末のお祝いを狙って販売されました。

羊の飼育・肥育も4年目となり経験の積み重ねと、メンバーの人数が増えたおかげで飼育についての意見交換が活発になり、これまでよりも高い利益を得ることが出来ました。女性たちは、これから先も自分たちで続けていけると自信を深めています。

子羊の出産も順調で、3村全ての女性が1頭ずつ手に入れており、その合計は80頭になりました。病気や怪我をすることなく、成長してほしいと思っています。



得られた現金は、学費や医薬品の購入に使われます。

ブルキナファソから 2



湖岸植林プロジェクト



初めて用材としての切り出しを行なったバディノゴ村の住民。

「緑のサヘル」が活動を行なっているバム県のほぼ中央に「バム湖」があります。この湖に面している5村で、植林活動を行なっています。植栽している樹種は、主としてユーカリとマンゴです。2013年は、5村で合計10,000本を植栽しました。

このプロジェクトは、2008年から続けていますが、植栽されたユーカリ苗木は大きく成長し、2つの村では、昨年12月に、初めて用材としての切り出しが行なわれました。これらの用材は、1本600cfa（約130円）程度で販売されます。また、調理用の薪としても利用することが出来ます。

切った後からすぐに脇芽が伸びてくるため、数年経てばまた用材として出荷することが出来ますし、身近なところで薪を入手することが出来るため、薪集めに要する女性たちの労力を大幅に減らすことも出来ます。

今後、用材販売に至ったこの2村がモデルとなり、湖岸沿いの各村で植林を希望する住民が増えてくるのではないかと期待しています。

チャドから



不作のため、穀物の備蓄量は3ヶ月未満です。

2013年の穀物栽培は、降雨不順のため、不作に終わりました。チャド政府は、昨年10月～11月にかけて国内の食糧生産・備蓄状況の調査を行ないましたが、その結果、全人口の21%にあたる約200万人の住民が、食糧不足の危機に直面していることが明らかになりました。

とりわけ、サヘル気候区に属する地域が深刻で、食料不足に直面する住民は約130万人に及ぶと見積もられています。中でも、ワディ・フィラ州の比率が高く、61%を占めています。

またこの調査は、このうち45%の人々が、あまり現金収入の多くない家庭であることも指摘しています。これらの人々は、不足する食料を購入することもできません。内乱が拡大している中央アフリカ共和国からの避難・帰還民の流入が続いていることもあり、状況の深刻化が懸念されます。



穀物を貯蔵する女性。穀物庫に貯蔵された収穫物は、生活の支えです。

国内活動



毎年冬期はイベントがありませんが、11 月には恒例となっている岩手県内の学校での講演を行ない、約 700 名の子供たちに話をする機会を得ました。また「岩手報告会」は、例年以上に遠方からの参加者があり、熱のこもったひと時となりました。年明けの 1 月には、「(独) 国際協力機構」(JICA) 主催の公開勉強会への出席、「(公財) 国際緑化推進センター」(JIFPRO) 主催の国際ワークショップでの事例発表を行ないました。

< 東京事務局での主な活動一覧 >

11 月	7 日(木)	盛岡市立 下小路中学校 (3 年生 182 名)	講演 (菅川)
	10 日(日)	緑のサヘル岩手報告会 (一般・教師 10 名)	報告 (菅川)
	11 日(月)	盛岡市立 桜城小学校 (5 年生 74 名・6 年生 57 名)	講演 (菅川)
	12 日(火)	滝沢市立 滝沢東小学校 (5 年生 58 名)	講演 (菅川)
	14 日(木)	一関市立 油島小学校 (4・5・6 年生 29 名)	講演 (菅川)
		一関市立 花泉中学校 (2 年生 102 名・特別支援学級 3 名)	講演 (菅川)
	15 日(金)	盛岡市立 山岸小学校 (5 年生 93 名・6 年生 101 名)	講演 (菅川)
	23 日(金)	長岡京市 長岡病院ヘルスケアセンター 第 46 回文化祭	出展
2014 年			
1 月	17 日(金)	公開勉強会「サヘル地域支援(砂漠化対処と食糧安全保障)」 (主催: 国際協力機構 地球環境部)	出席 (岡本)
	28 日(火)	ワークショップ「乾燥地・半乾燥地における森林造成と水問題」 (主催: 公益財団法人 国際緑化推進センター)	講師 (菅川)

国際ワークショップでの事例発表

1 月 28 日、東京都代々木にある「国立オリンピック記念青少年センター」において、国際ワークショップ「乾燥地・半乾燥地における森林造成と水問題」が、60 名近い参加者を得て開催されました。

このワークショップは「(公財) 国際緑化推進センター」の主催によるもので、土地の生産力の低さ、限られた水資源、住民の貧困等、多くの制限がある乾燥地・半乾燥地での植林や森林作りに関わる情報を共有し、討議する目的で開かれたものです。



20 年以上にわたる活動で得たノウハウを紹介。

「緑のサヘル」からは事務局長の菅川が講師の 1 人として参加し、これまで実施してきたチャドやブルキナファソでの植生回復・保護活動、その中で体験した植林や灌水に関わる苦労や工夫、プロジェクトの中で試みた様々な技術等を、画像を用いつつ紹介しました。参加者からは、「現場の実体験だけに、説得力がある」と概ね好評でした。



インターネットから、ご支援頂けます!!

gooddo

“社会を良くする” 仕組みづくり

Gooddo（グッドゥ）は、応援したい社会貢献団体を、誰でも、今すぐ、簡単に無料で支援することができます。緑のサヘルは、1月から参加しています。



< 応援の仕方 >



gooddo のサイト (<http://gooddo.jp>) にアクセスし、「団体を探す」から「緑のサヘル」を選び、クリックして下さい。応援ポイントが貯まり、ポイント数に応じた支援金が「緑のサヘル」に届けられます。よろしくお願ひします!!

JustGiving Japan

—— あなたのチャレンジが世界を変える。 ——

JustGiving は、個人の想いが集まる場を提供し、寄付を通じた社会参加のきっかけづくりに貢献するサイトです。「緑のサヘル」がチャレンジする目標に賛同し応援することで（サポーターになる）、JustGiving から寄付金が提供されます。



< 応援の仕方 >



JustGiving のサイト (<http://justgiving.jp>) にアクセスし、「緑のサヘル」のページ (<http://justgiving/npo/449>) を開き、「緑のサヘルを応援（寄付）する」をクリックして下さい。よろしくお願ひします!!

自然の恵み ハケ岳製品を！

大自然の中、丹精込めて作られたチーズやソーセージ、カレーはいかがですか？

長野県ハケ岳山麓に、「ハケ岳中央農業実践大学校」があります。ここでは、営農を志す青年たちが、豊かな緑の中で色々な作物や野菜、乳製品や加工食品作りに、日々汗を流しています。

実は、「緑のサヘル」代表の岡本と事務局長の菅川は、この学校の OB。ここで、2 人は会いました。その縁もあり、「緑のサヘル」を通じて製品をご注文頂くと、大学校のご厚意によって、売り上げの 20% が当団体に寄付されます。



詳しくは最終ページのセット価格表をご覧ください！

ありがとうございました

* 敬称は略させて頂きました。

【 継続会員のみなさま 】

杉本和／野々山富雄／森内和子／内藤篤／田辺諄児／浅輪哲司・佳奈子
梅田暢子／豊田和子／福川佐代／古川フミ子／高橋聖子／竹内信／木嶋清江
加藤和雄／矢野友一郎／今野進／稲葉洋子／山田和也／和田隆資／井上幸子
後藤琢雄／佐々木順平／鈴木幸子／上野幸子／援助修道会 管区本部

【 ご寄付を頂きました 】

野々山富雄／越智美代子／宮田春夫／津田俊博／畑野めぐみ／田中京子
油島小学校 佐藤怜子／山野上素充／小林美穂子／田辺諄児／浅輪哲司・佳奈子
加藤正好／齋藤せい子／吉田りつ子／竹中和子／賀川麻衣／(株)日展 柳沢ゆき
梶野修平／サトウイクコ／村上和代／榎本みつ枝／西村豊子／浅井賢太郎
梅田暢子／須藤さい／福川佐代／村上康子／大枝純／太田弘子／山本淑子／木嶋清江
宮本秀子／黒河内康／小池昌子／田中ちえ子／佐々木仁／小林伸張／小島訓子
高橋量平／高木真味子／丹邦子／鈴木潤／北川華子／小沢治之／佐藤京子
武藤彰子／木野下章／太田宜子／青柳美知子／赤山美苗／神野潤子／東海林茂子
高瀬光代／谷村泰子／富谷晋／中尾寿美／水島多衛子／花垣末男・正／山根貞夫
内記悦子／個別教育フォレスト安多秀司

日本聖公会 西宮聖ペテロ教会／日本聖公会 大阪教区婦人会
株式会社プレジャーワークス／日本リージャス株式会社／株式会社ジャストギビング
よこはま国際フェスタプロジェクト 象の鼻Cプラット募金
援助修道会 管区本部／援助修道会 修練院／都立戸山高校水球班OB有志

他 匿名をご希望の方 6名

【 ハガキ・切手・商品券・図書カードなどをいただきました 】

岩手県一関市立花泉中学校福祉委員会／斎藤せい子
ベーカリーテラス ドーシエル／白杉多衛子／津田俊博

上記は 2013 年 11 月 1 日から 2014 年 1 月 31 日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、2014 年 2 月 1 日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。

【 協力団体・助成団体 】

アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会／(独)国際協力機構(JICA)
(公財)毎日新聞東京社会事業団／(公財)イオン環境財団(環境活動助成)
緑の募金(管理団体:(社)国土緑化推進機構)／(公財)国際緑化推進センター
アクトシステム株式会社／(社)日本経済団体連合会／(公信)地球環境日本基金
isave(シープ株)／住宅エコポイント／アフリカ料理 トライプス
(財)農村更生協会 ハヶ岳中央農業実践大学校／(特活)国際協力 NGO センター
(特活)環境アリーナ研究機構／(特活)ハンガー・フリー・ワールド
国際連合食糧農業機関(FAO)／(公社)国際農林業協働協会／(株)グリムス

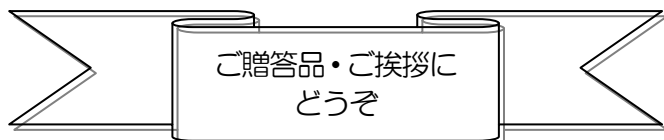
「緑のサヘル」からお知らせ

BOOK募金で気軽に国際協力！

「緑のサヘル」は、BOOK 募金に参加しています。

使わなくなった書籍や CD、DVDなどを(株)プレジャーワークスにお送りいただくと、その買取代金が「緑のサヘル」に寄付されます。

詳しくは、同封したチラシを見てね！！



ご贈答品・ご挨拶に
どうぞ

ハケ岳農場の特産品

ハケ岳中央農業実践大学校の特産品がさらに充実しました。これまでの手作りチーズとアイスクリームに加えて、チーズケーキ、カレー、ソーセージなど、ハケ岳の新鮮な材料と確かな技術から生まれた品々が勢揃いの10セットです。各地への送料を含めた価格は下記の表のとおりです。

大学校のご厚意により、お求めごとに定価の20%が当会に寄付されます。

【お申し込み方法】

郵便振替用紙に、ご依頼人様とお届け先様のご住所、氏名、電話番号、ご希望セット名と数量をご明記の上、下記までお振込みください。

00140-9-50425「緑のサヘル」

お振り込みから到着まで10日程かかります。

facebookのいいねボタンで応援を！



「緑のサヘル」の facebook ページでは、ブルキナファソでの活動やイベント情報などを発信しています。

よろしければ、ぜひ「いいね！」ボタンで応援してください！

facebook ページはこちら↓
<https://www.facebook.com/sahelgreen.org>

【 もくじ 】

- | | |
|----------------|----------|
| 1..表紙 ご挨拶 | 5..国内活動 |
| 2..8年目の小学校緑化 | 6..事務局より |
| 3..ブルキナファソから 1 | 7..ありがとう |
| 4..ブルキナファソから 2 | 8..お知らせ |
| | チャドから |

< スタッフよりひと言 >

●ブルキナファソ出張から戻りました。気温差は、実に30度です。寒さが身にしみます。(岡本)

●まれに見る東京の大雪。岩手に生まれ育った私は、雪に対して複雑な思いがあります。まさか雪を見たことがない人々と一緒に活動することになるなんて、夢にも思いませんでした。(菅川)

●人生初のインフルエンザに罹りました。空気が乾燥するこの季節、皆様もお気を付けください！(田村)

●神田駅前にあった啓文堂(本屋)が閉店してしまいました。ものすごく残念です。(本所)

		関東 信越 北陸 中部 南東北	関西 北東北	中国	四国	北海道 九州	沖縄
A	アイス10個	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420
B	アイス20個	6,400	6,500	6,610	6,710	6,810	7,020
C	チーズ	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800
D	アイス / ケーキ2種	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420
E	ムース	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550
F	ケーキ	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550
G	カレー / チーズ	5,000	5,100	5,210	5,310	5,410	5,620
H	ケーキ2種	3,230	3,330	3,440	3,540	3,640	3,850
I	カレー	3,580	3,680	3,790	3,890	3,990	4,200
J	チーズ / ソーセージ	5,730	5,830	5,940	6,040	6,140	6,350

内容の詳細をご希望の方は、事務局までご連絡ください。詳細チラシをお送りいたします。

La Forêt, C'est la Vie !

Vol.57

編集 岡本敏樹 菅川拓也 本所稚佳江 田村典子 /印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 緑のサヘル ホームページ: <http://sahelgreen.org/> E-mail: agsj_tokyo@sahelgreen.org

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町16番地 NASビル3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041